

令和8年4月14日(火)
香川県立丸亀城西高等学校
担当 教諭 大西
TEL 0877-23-5138

生徒が製作した「県産品かるた」を丸亀市に寄贈

- 【日時】 令和8年4月23日(木) 17:00~17:30
- 【場所】 丸亀市役所4階 市長応接室 香川県丸亀市大手町2丁目4-21
- 【内容】 総合的な探究の時間において、丸亀城西高校3年生4名が、県産品に関するかるたを企画し、試作品を製作しました。その後、そのかるたを城坤コミュニティの子どもたちに実際に使ってもらい、改善を重ねて完成させました。
地域の子どもたちに県産品かるたで遊んでもらいながら、県産品について学ぶ機会としてほしいとの思いから、丸亀市内の児童館等に寄贈することとしました。
丸亀市長を表敬訪問し、県産品かるたを製作した思いを伝えるとともに、かるたを寄贈します。
- 【出席者】 丸亀市長 ^{まつながきょうじ} 松永 恭二様
丸亀市人権課、地域づくり課、子育て支援課の皆様
丸亀市城坤地区コミュニティ協議会代表者様
丸亀城西高等学校 3年生 4名 (^{すみともかなこ}住友華奈子、^{おおにしゆな}大西佑奈、^{かなまるこはる}金丸心晴、^{おのたくや}小野琢也)
丸亀城西高等学校 校長 ^{ひらおこういちろう} 平尾 浩一郎、3年学年主任 ^{おおにしゆり} 大西 ユリ
- 【主催者】 丸亀城西高等学校
- 【経緯】 これまでの探究活動の概要は別紙をご覧ください。



香川県産品を広めるために

住友華奈子 金丸心晴 大西佑奈 小野琢也
(キーワード 地産地消 県産品 かるた)

1. はじめに

食料自給率の向上や地域経済の活性化において、「地産地消」は極めて重要な役割を担っている。香川県にはどのような「地元の食材・県産品」があるか調査したところ、想像以上に多くの食材があり、中には香川県独自のブランド名を持つものもあつたことが分かつた。CM等で有名なものもあるが、まだまだ知られていないものも多く存在している。県産品をもつた広めたいという目的でその方法を模索していたところ、「かるた」を思いついた。かるたを採用した理由は3つ、①今まで県産品を知らなかつた人たちが興味を持つきっかけになること、②かるたを通して一度に多くの県産品を紹介できること、③子どもたちに遊んでもらうことで若い世代からの県産品認知度を高められることだ。このかるたを通して、香川県の農業・漁業・畜産業はもちろん、香川県全体が活性化されることを目的に探究活動を行った。

2. 探究の方法

①かるた試案の準備

- ・かるたに記載する内容として、それぞれの県産品の特徴、栽培地、豆知識、おすすめの食べ方などをインターネット等を用いて情報収集し、データ化した。
- ・県産品のイラスト、読札の裏に使う共通イラストを作画した。
- ・かるたに記載する内容を決定し、配置を考えた。

取札(図1)の表…県産品のイラスト

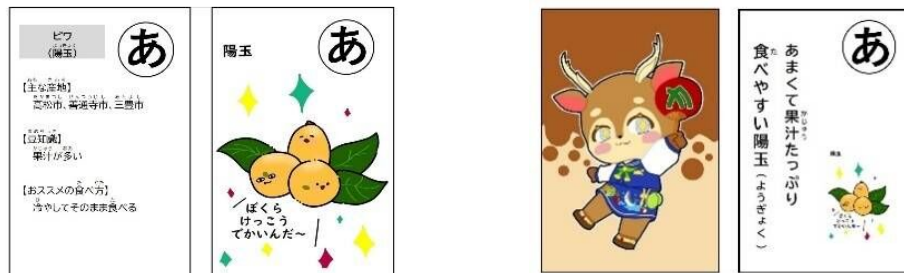
裏…ブランド名、栽培地、豆知識、おすすめの食べ方

*ポイント:裏面に農産物の特徴を記載することで県産品を深く知ってもらうようにした。

読札(図2)の表…読み句

裏…共通のイラスト(県産品かるたオリジナルキャラクター)

*ポイント:小さくイラストを入れ、香川県をイメージするようなキャラクターを考案した。



取札(図1)



読札(図2)

②かるた試案の添削

- ・かるたの試案の完成後、県産品の専門機関の方々にご協力を頂き、試案内容に不足や誤りがないかの確認および添削をしてもらった。

③手作りでかるたを作成

- ・内容を訂正したものをプリントアウトし、厚紙に貼付け、手作りのかるたを作成した。

④試遊会・インタビュー

- ・地元の小学校や児童館で試遊会を開催し、子どもたちに遊んでもらった。

(図3)

- ・かるたを試遊してくれた人たちにアンケートやインタビューを行った。



(図3) 城坤コミュニティセンターでの試遊会の様子

3. 結果

- ・食材ごとに得られた情報をデータ化することで、まとめやすく処理することができた。その得た情報の中から特徴がよくわかるものを組み合わせ、それぞれの食材の良さが伝わるような読み句を考えることができた。
- ・取札の裏面に栽培地や豆知識、おすすめの食べ方を載せることで、その食材への理解がより図れるよう工夫することができた。
- ・県産品の専門機関の方々から、県が強く推している食材を聞くことができ、かるたに採用する44種を選定することができた。
- ・かるた原案の完成後は、2カ所の施設を訪問し、試遊した約40名の方からアンケートに答えてもらった。保護者や施設の方々からも、貴重なご意見をいただくことができた。

主な意見…良い点…イラストでどんな食材かがよくわかる、大人でも楽しめる内容量になっている など
改善点…かるたが大きく手が届きにくい、イラストの文字が細く見えにくい など

4. 考察

アンケートやインタビューでいただいた意見を踏まえ、良い点は現状維持、改善点については再度かるたの改良を行い、より遊びやすく、かつ県産品の魅力をアピールすることができるかるたを目指すことにする。

- 例) ・イラスト内の文字が見えにくい
→ 手書き文字からパソコン入力へ変更 (図4)
・かるたのサイズが大きい
→ A5 サイズから A6 サイズに変更



(図4) 取札のイラストの文字を改善

5. 今後の展望

現在、試作品の最終確認を行っており、それが完了すれば正式なかるたの製作を丸亀城西高校にお願いする予定になっている。またそれと同時に、丸亀市役所とも連携を図っており、完成後は市内の児童館やコミュニティセンタ、製作にご協力いただいた各機関の方々などへの寄贈も検討している。寄贈が実現すれば、それらの児童館等を訪問し、寄贈先の方々と一緒にかるたで遊ぶ機会を設け、使用上の課題や改善点をより細分化し、以降も改善を重ね、香川県産品の魅力をより効果的に伝えるかるたの製作を目指していきたいと考えている。

6. おわりに

かるたの製作を経て、自身も県産品への理解を深めることができた。また、かるた製作の各段階で多くの方々からの快い協力を得て、地域のつながりを強く感じることもできた。そして子どもたちからも「楽しかった、また来てほしい。」といううれしい言葉もあり、我々の探究活動をもっとよいものにしたいという原動力となっている。これからも市役所等の方々から助言をいただきながらかるたを広める計画が進行中であり、より多くの方が私たちのかるたを手することで県産品に触れる機会を作り続け、若い世代から県産品を珍しいものから常識に変えることをゴールに、これからも活動を続けていく方針だ。このかるたを通して、香川県産品の振興に貢献し、香川県全体の活性化につながると嬉しい限りである。



(図5) かるたを入れる箱のデザイン

7. 参考文献、ご協力いただいた機関

《参考文献》

LOVE さぬきさん HP
<https://www.kensanpin.org/>

《ご協力いただいた機関》

香川県庁交流推進部県産品振興課
香川県農業協同組合本部
丸亀市役所人権課
丸亀市役所子育て支援課
城坤コミュニティセンタ
南部すくすくスクエア